



るもい風土資産カード

ひがしやま湖（有明ダム）

エゾヤマザクラの桜並木が続く
水と緑の憩いの場

日本海沿いを走る国道232号の初山別村有明市街地から道道708号を山に向かって約10km進むと、辺り一面緑に包まれたひがしやま湖が見えてきます。ひがしやま湖は昭和46年（1971年）12月に完成した有明ダムによってできた人造湖で、流域面積は19.5平方キロメートル。昭和42年（1967年）に制定された補助治水ダム制度を利用した北海道で初めてのダムで、茂築別川（もちくべつがわ）を利用した治水ダムとして、地域住民の暮らしを支えています。

湖畔には自然豊かな公園「東山樹園」が整備され、バーベキューコーナーやキャンプができるスペースもあり、春には桜やつつじ、秋には湖面に映る紅葉の景色が楽しめます。

ひがしやま湖へ向かう道路は「桜ロード」と名付けられ、道道708号（道道有明天塩停車場線）7線沢から有明ダムに至る約7kmの沿線に約1800本のエゾヤマザクラが植えられています。高さ4mほどに成長したこの桜は平成4年（1992年）から地域住民の手によって整備されたもので、毎年5月中旬にはピンク色に染まる桜並木に多くの見物客が集まります。桜ロードの桜は約2週間にわたって楽しめる初山別村の新名所となっています。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



四季折々に様々な表情を見せてくれる有明ダム・東山樹園では、様々な鳥のさえずりが耳を楽しませてくれます。



ひがしやま湖の周辺は緑一色の抜群の自然環境を誇ります。有明ダムへ向かう道の両側には桜の木が植えられており、一斉に咲き誇る姿は壮観です。静かな湖面、辺り一面の緑。森林浴を楽しむのがオススメです。



見どころ

桜ロードに植えられているのは、北海道はおなじみのエゾヤマザクラ。平成4年（1992年）から10年をかけて植樹されたもので、道北を代表する桜の名所となるよう、毎年秋にはせん定などの手入れが行われています。

ポイント

ひがしやま湖の名称は昭和60年（1985年）9月に初山別村の村民の公募によって決まったもので、この地区が東山地区と呼ばれていたことに由来します。静かな湖畔は、森林浴の絶好のポイントで、四季を通してさまざまな景観を楽しむことができます。

■ 基本情報 (R1.5)

水系：茂築別川水系茂築別川
問い合わせ：留萌建設管理部地域調整課
TEL 0164-42-8352

【有明桜ロード】

住所：苫前郡初山別村字有明
問い合わせ：初山別村観光協会
TEL 0164-67-2111